

# アンゴラ共和国月報

2017年10月号  
在アンゴラ日本国大使館

## 主な出来事

### 【内政】

- 今年10月～来年3月までの政府行政計画が発表された。
- ロウレンソ大統領が国会にて所信表明演説を行った。
- マサーノ氏が再びBNA総裁に就任した。

### 【外交】

- 19日、ブラザビルにてロウレンソ大統領が大湖地域国際会議に出席。
- マンゲイラ財務大臣が、9日～15日の日程で開かれたIMF・世銀年次会合に出席。

### 【経済】

- マカオにて第22回国際見本市が開催され、アンゴラ政府代表団が参加した。
- 丸紅繊維工場の運営についての状況把握を目的に政府による技術委員会が発足した。

## 内政

### 1 財務省における構造改革

ロウレンソ新政権は財務省の国庫担当副大臣職を廃止し、これまで国庫担当副大臣が担当していた職務はヴェラ・ダヴェス財務省財政・国庫担当副大臣とアイア・ゴメス・ダ・シルバ財務省予算・公共投資担当副大臣に振り分けられる(EX10/27)。

### 2 ルアンダでのガソリン不足問題

ソナンゴルは、ルアンダのガソリンスタンドにおける燃料不足問題に関するプレスリリースを発出し、今回の燃料不足の原因は24時間にわたるガソリン輸送の遅れによるものであると釈明し、同問題は既に解決済みであると発表した(JA 10/22)。

### 3 ベンゲラ州政府における人事

10日、ルイ・ファルカオ・ベンゲラ州知事は新しい州政府局長、市長、その他要職の就任式を執り行った(JA 10/11)。

### 4 暫定的行政計画の発表

10日の閣議において、「経済・社会状況改善のための対策と政策」と題する、2017年10月～2018

年3月までの行政指針を示した計画書が承認された(JA 10/11)。

### 5 ロウレンソ大統領による所信表明演説

16日、ロウレンソ大統領は国会において所信表明演説を行った。政府はより国民に近い存在であるべきであり、国会は国内における議論の中核であり、市民社会との対話の場であると述べた。司法分野において、今後裁判所をすべての市レベルで配置し、農村部における司法をより国民に身近なものとしたい点強調した。経済分野において、地域格差是正を目指し、アンゴラ内陸地への投資を行う企業に対し税制面で優遇措置をとり、工業及び工業資源開発に係るマスタープランを作成すると述べた(JA 10/17)。

### 6 イザベル氏の権力強化

9月21日に署名された大統領令によってドス・サントス前大統領は、ソナンゴル取締役会におけるCEO職を廃止し、結果的にイザベル取締役会会長の権限が強化されることとなった(EX 10/6)。

### 7 工業省が繊維工場の運営事業権を剥奪

9月15日に発表された工業大臣令により Africa Textil, Satec, Textang IIの3繊維工場の運営に携

わっている企業の運営権が剥奪された。当該3工場は日本政府による12億ドルのクレジット・ラインにより建設された(EX 10/6)。

## 8 各省副大臣が拝命を受ける

13日、ロウレンソ大統領は大統領府において49の各省副大臣の就任式を執り行った。この49名の副大臣に加え、ロウレンソ新政権は大統領府付大臣(3名)、各省大臣(28名)、各州知事(18名)により構成される(JA 10/14)。

## 9 MPLA中央委員会の開催

23日、ドス・サントス氏主導のもと、総選挙後初のMPLA中央委員会が開催され、現政権がアンゴラ国民の生活の質向上のために必要な対策をとることが奨励された。またサロマオ・シリビンビMPLA国会議員団代表及びアダオ・デ・アルメイダ国土・国家改革大臣の両者の同党政治委員会入りが決定された(JA 10/24)。

## 10 副州知事の任命

ロウレンソ大統領は18州の副州知事を任命した(JA 10/26)。

## 11 ジョゼ・デ・リマ・マサーノ新BNA総裁

(1)27日、ロウレンソ大統領は2015年1月まで中央銀行(BNA)を務めたマサーノ氏を再びBNA総裁職に指名した。政府の計画によれば、BNAは12月までに外貨取得のため、コルレス銀行との関係を修復する任務を負う(JA 10/28)。

### (2)マサーノ新BNA総裁就任式

マサーノ氏は就任式の場において、汚職と縁故主義を認めないとし、国益を害する行為に対し、民事或いは刑事的に処罰を行うと述べた。ロウレンソ大統領は同氏の能力を評価しており、プロフェッショナルであるマサーノ氏のBNAでの成功のため支援を約束するとした(JA 10/30)。

## 外交

### 1 中国関連

#### (1)中国病院船のルアンダ寄港

19日、115名の医療従事者を乗せ、8つの手術室及び300のベッドを搭載した病院船(Peace Park 号)がルアンダ港に到着した(NJ 10/20)。

#### (2)中国海軍大将のルアンダ州知事表敬

20日、グアン・バイリン中国海軍大将は、アドリアーノ・メンデス・デ・カルヴァーリョ・ルアンダ州知事を表敬し、中国はアンゴラにおける効率的で質の高い医療サービスの提供を実現するため、高等医療情報技術分野におけるアンゴラ人の人材育成を支援すると約束した(JA 10/21)。

#### (3) 中国病院船の出港

8日間で5500人以上の一般市民及び軍人が医療サービスを受けた。がん診療、眼科、口腔内科での受診が多かった。25日、シルビア・ルトウクタ保健大臣が同病院船を訪問し、次回の寄港時には、アンゴラ人の医療チームに乗船してもらい、施設を見学してもらおうと共に同医療サービスに実際に従事し、技術を学んでもらうと述べた(JA10/26)。

#### (4)Cui Aimin 駐アンゴラ中国大使の大統領表敬

18日、Cui Aimin 駐アンゴラ中国大使は、ロウレンソ大統領を表敬訪問し、会談後の記者会見において、同中国大使はロウレンソ大統領と、金融分野での二国間協力について協議を行い、農業、工業、人材育成、保険分野における中国企業投資の誘致に関しても意見交換を行ったと述べた(JA 10/19)。

## 2 マンゲイラ財務大臣の IMF・世銀年次総会出席

マンゲイラ財務大臣は、IMF・世銀年次総会に出席するとともに、IMF 専門家らと先般閣議において承認された政府暫定計画に関する議論を行い、とりわけマクロ経済に関する税制の強化、通過・為替状況の調整、投資促進が主な議題であった。現在、IMF と融資の有無を含めたアンゴラへの財政支援の可能性について協議を行っている(JA 10/16)。

## 3 大統領の大湖地域国際会議出席

19日、ロウレンソ大統領はブラザビルにて開催された大湖地域国際会議に国家元首として始めて出席した。アンゴラは過去4年間同会議の議長国を務め、次期議長国に対し支援を行うことを約束した。ロウレンソ大統領は、大湖地域に住む人々の社会的条件改善のための取り組みを継続させ、この試みは公約を伴うべきであると呼びかけた(JA 10/20)。

## 4 日・アンゴラ協力

JICAの技術面、財政面での協力のもと70人の若者を対象に建設分野の研修を開始した。同研修はヴィアナ職業訓練センター(CENFOC)において、今後2年間実施される予定(ME 10/20)。

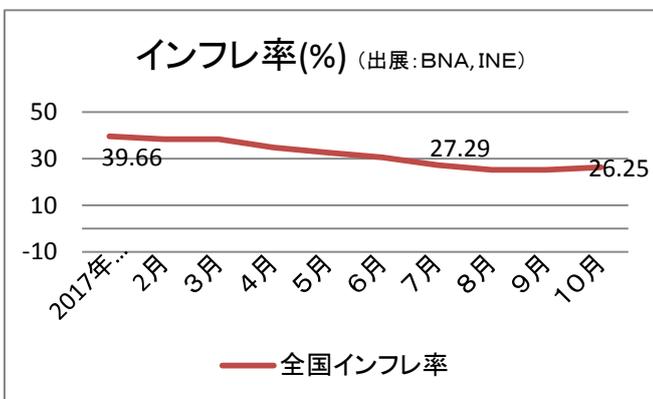
**経済**

**1 主要経済指標**

**(1) 物価**

ア 国家統計院(INE)が発表したアンゴラ全国版の9月時点での年間インフレ率は、26.25%だった。月間物上昇率は2.39%。

イ 物価指数が前月比で最も上昇したのは、保健(5.06%)、物・サービス(4.03%)、衣料品(3.85%)、アルコール類及びたばこ(3.17%)。

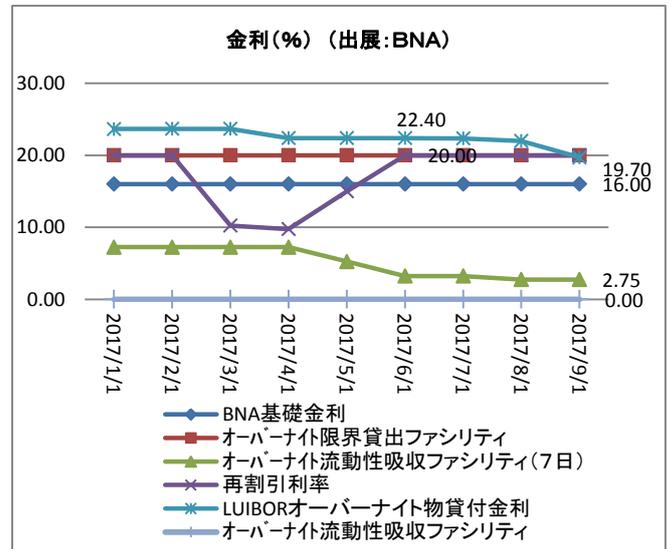


**(2) 金利**

ア 11月1日に開催された第72回金融政策委員会(CPM)は、政策金利のBNA基礎利率(Taxa BNA)は、年率16.00%と前月から維持と発表。

イ 流動性吸収ファシリティ(市中銀行がBNAに預けている準備預金のうち、法定額を超過した部分に対する利率)は年率2.75%で前月と変わらず。

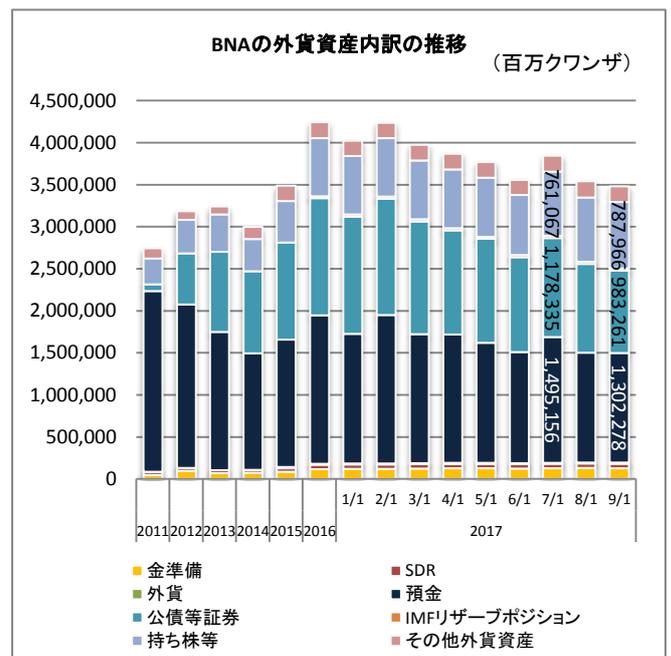
ウ 限界貸出ファシリティ(BNA から市中銀行へのオーバーナイト物貸付金利)は年率20.00%で前月と変わらず。

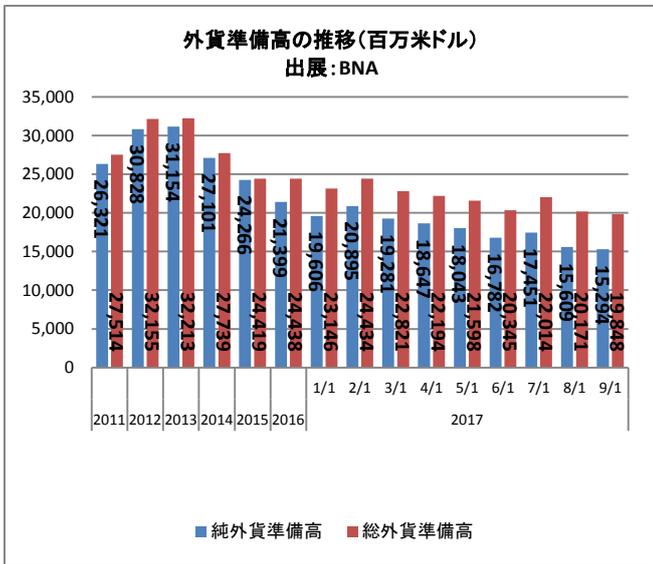


**(3) 為替市場**

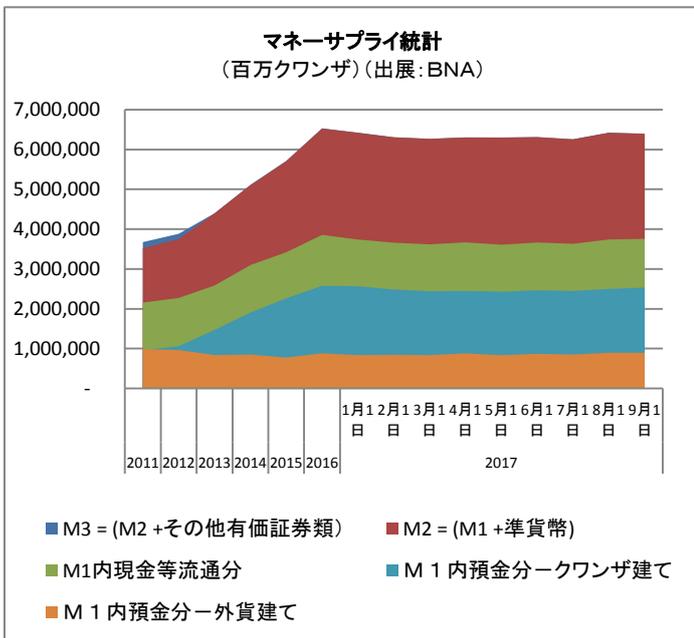
10月、為替相場は1USD=165.097AKZ で推移(前月比0.001クワンザ高)。

**(4) BNA 発表の外貨準備高統計**



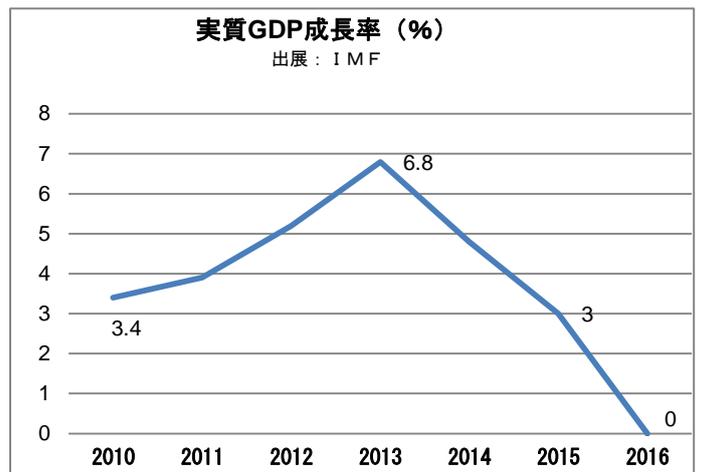


## (5) マネーサプライ統計

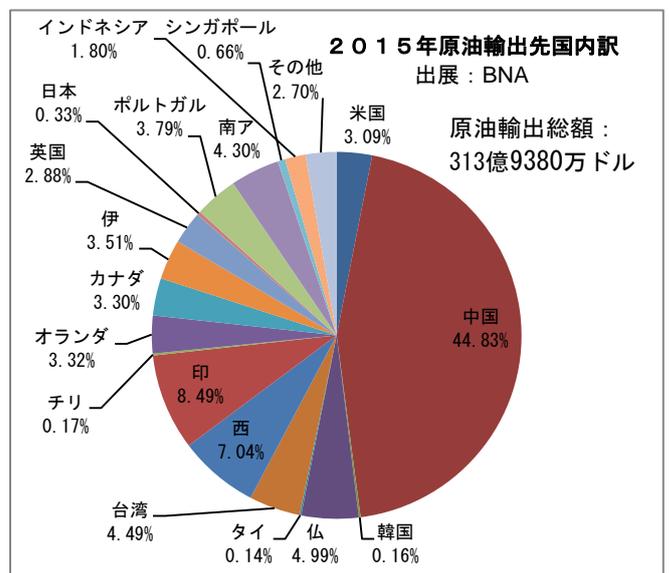


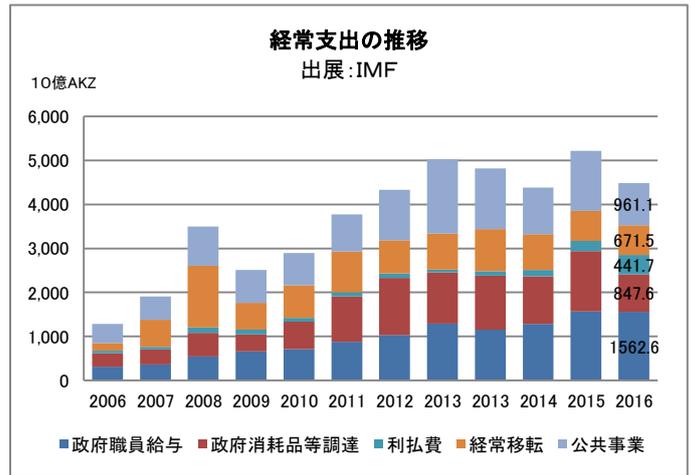
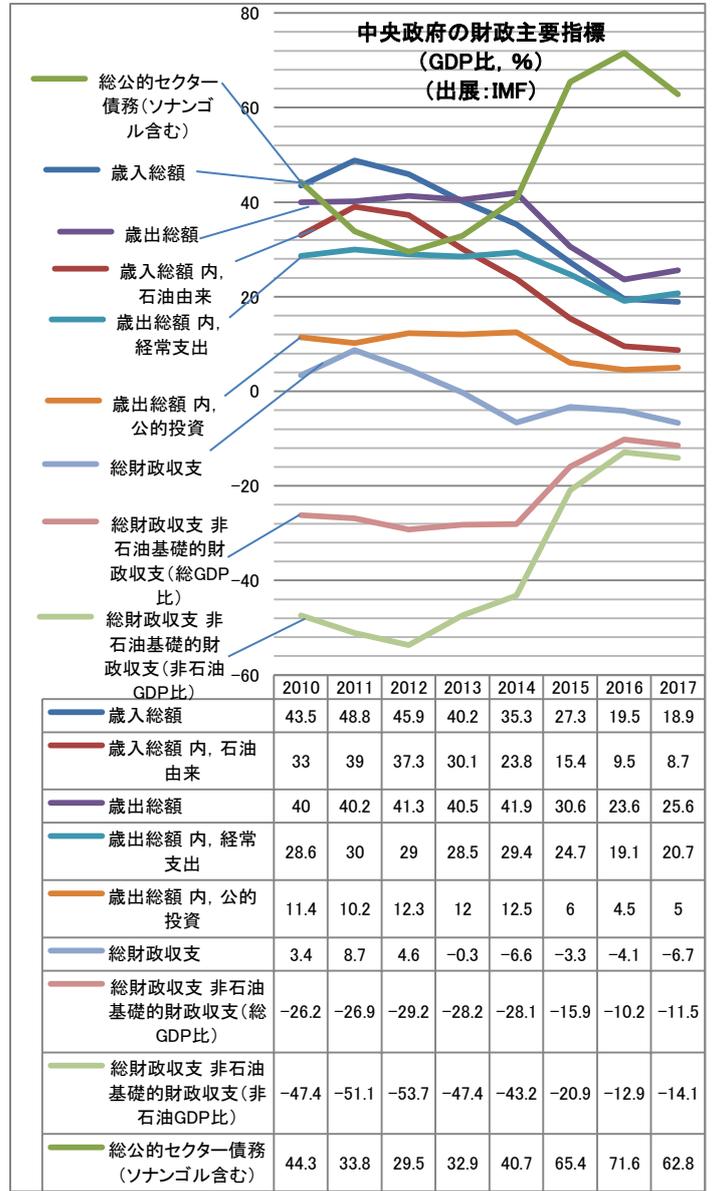
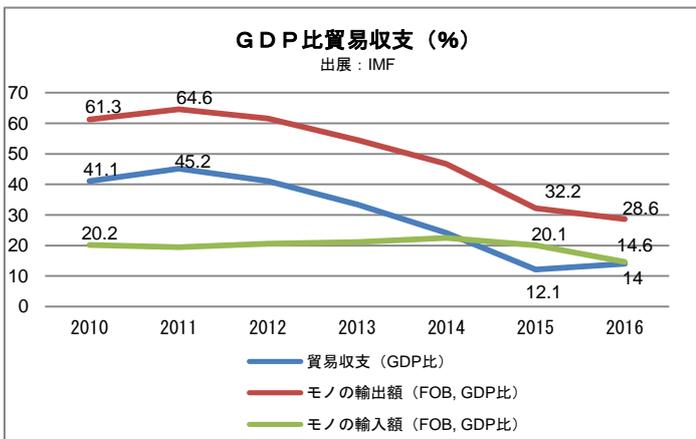
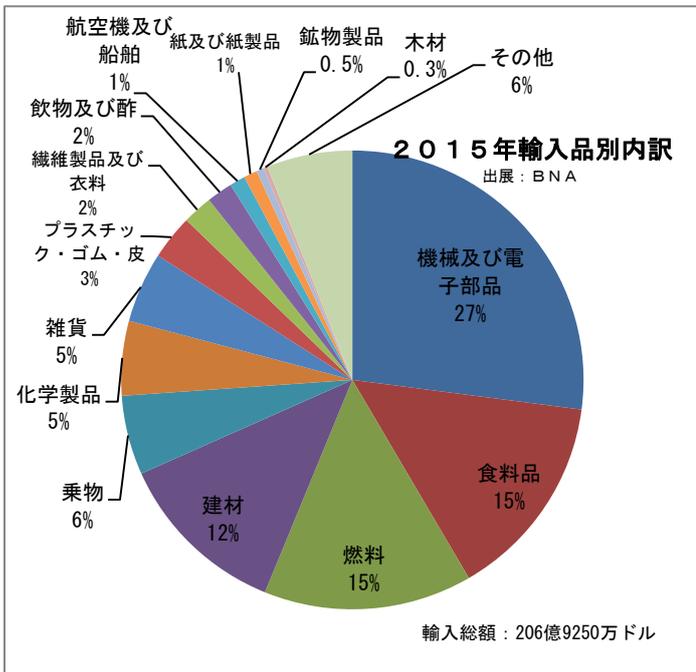
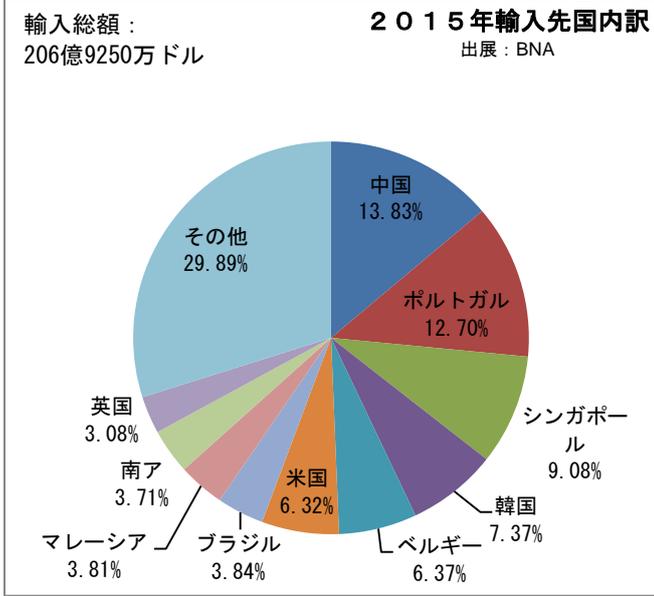
2017	3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	百万クワンザ
M3 = (M2 + その他有価証券類)	6,267,569	6,303,541	6,300,288	6,311,111	6,256,880	6,421,837	6,396,299	
M2 = (M1 + 準貨幣)	6,264,311	6,300,258	6,296,969	6,307,748	6,253,470	6,417,273	6,391,502	
M1	3,617,637	3,667,562	3,608,452	3,663,967	3,631,631	3,740,412	3,755,853	
M1内現金等流通分	341,081	338,915	344,557	330,052	332,938	344,398	328,836	
M1内預金分	3,276,606	3,328,647	3,263,895	3,333,915	3,298,693	3,396,014	3,427,017	
M1内預金分-クワンザ建て	2,439,544	2,447,554	2,428,556	2,463,959	2,447,134	2,497,737	2,531,624	
M1内預金分-外貨建て	837,063	881,093	835,339	869,956	851,559	898,277	895,394	

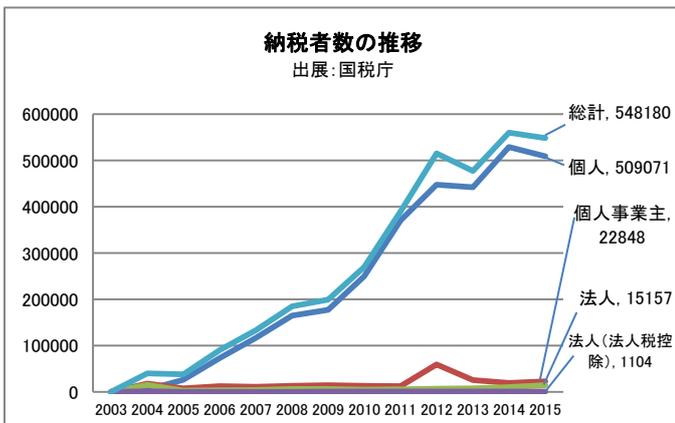
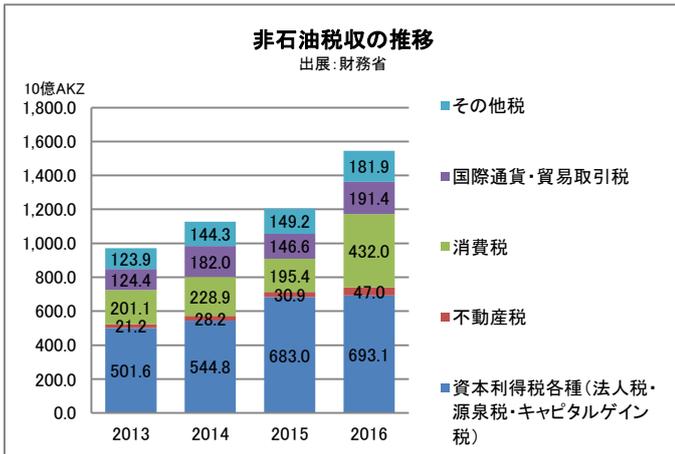
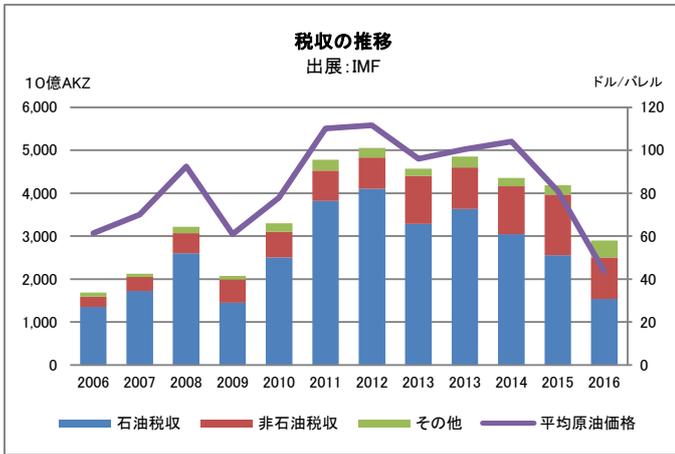
## (6) GDP及び成長率



## (7) 主要貿易統計







## 2 石油部門投資総額の下向き修正

アダム・ポラード英 Woodmackenze 社アナリストによれば、2014年時に予測されていた2020年までの石油部門における投資額が670億ドル減となると下方修正された。2014年以降、新規のプロジェクトが承認されておらず、石油価格の低下により多くの深海掘削プロジェクトが取りやめとなった(EX10/27)。

## 3 日アンゴラ経済

### (1) 繊維工場の状況把握のための委員会設立

アンゴラ政府は運営権を無効化された3工場の状況を把握するため技術委員会を立ち上げた。工業省によれば、アンゴラ産業開発院(IDIA)は運営に携わる企業に対し、運営権を付与する権限を有していなかったにもかかわらず、このプロセスを進めた(EX 10/13)。

### (2) Alassola 繊維工場が紡績糸を輸出

ベンゲラ州の Alassola 繊維工場で生産された150トンの紡績糸がロビト港からポルトガルに向けて輸出された (VA 10/16)。

### (3) 丸紅繊維工場運営に係る新規入札の実施

ヴィセンテ・レイタオン繊維部門評議会委員長によれば、9月の工業大臣令により、運営に携わっている企業の事業契約破棄が決まった Textang II, Africa Texil, Satec の3つの繊維工場は、入札プロセスを経て再度民間企業に売り渡されることになる。同会長は、現在運営に従事している3社は生産性が低く、日本政府より融資を受けた14億ドルの返済能力を有しないことが今回の再入札実施の理由との述べた(EX 10/27)。

## 4 アンゴラ・中国経済関係

### (1) 第22回マカオ国際見本市

ア マカオにて、第22回国際見本市が開催され、ジョアオ・ガルシア・ビレス駐中国アンゴラ大使をヘッドとし、漁業、保存食、銀行、農業、土木分野等で活動する80のアンゴラ団体・企業のミッションが参加した (ME 10/19)。

イ 建設・公共事業省の民間投資技術支援局 (UTAIP) と China Building Technique Group 社がアンゴラにおける建設・公共事業分野において100万ドルの契約合意に達した (AP 10/20)。

ウ 建設・公共事業大臣の許可なしの署名

(上記イの) 民間投資技術支援局 (UTAIP) と China Building Technique Group 社との契約合意に関して、マヌエル・タヴァレス・デ・アルメイダ建設・公共事業大臣の許可なしに、UTAIP 局長が独断で署名を行ったことが明らかになった (AP 10/27)。

エ フェルナンド・テレス BCI 総裁は、本来中国による融資を受ける請負業者の30%はアンゴラ

企業である必要があるが、現状として履行されておらず右事態を改善する必要があると述べた。同総裁はまた、本年11月、マカオ経済特区にアンゴラの銀行を開設する手続きを正式に開始すると発表した(AP 10/21)。

#### (2) 2016年のアンゴラ・中国貿易収支

2016年の貿易収支において、アンゴラは2兆7790クワンザの黒字を記録し、中国はアンゴラの輸出先の52%を占めた(AP 10/19)。

#### (3) アンゴラが中国最大の債務国の一国に

2000年から2016年間に於けるアンゴラの対中国債務が165億5600万ドルとなり、ロシア、パキスタンに次ぎ対中国債務高第三位となった。プロジェクト数では総プロジェクト数110で第四位(JA 10/16)。

#### (4) CIFによる火力発電所計画

中国国際基金(CIF)は、ルアンダにおける火力発電所建設(50メガワット)のため、5500万ドルの融資を行う。同発電所の電力は、同じくCIFがボン・ジェズス地区で運営しているセメント工場で使用されている(CK 10/15)。

#### (5) 中国企業の上水道システム事業参入

クイト市ビエにおいて、中国のCR20社が水の汲み上げ、浄水、供給を担う上水道システムの拡大及び建設事業に参入する。本事業は中国クレジット・ラインの融資を受けるもので、306,851人に裨益するとされる(AP 10/24)。

#### (6) バイク組み立て工場

アンゴラにおいてAigir Huang製とLingken製のバイクの組み立てを行うアンゴラ・中国の合併企業であるAgir Huang社が生産台数の制限と人員削減、輸入管理等を通じ、破産の危機から脱却した(JA10/8)。

### 5 ラウカ水力発電所の発電能力向上

7日、マランジェ州ラウカ水力発電所の第二タービンが稼働を始め、総発電能力が660メガワットに拡大した。同水力発電所は2018年までに6つのタービンを備え、総発電能力は2070メガワットに達する見込み(JA 10/9)。

### 6 アンゴラ・インド商工会議所開設

10月9日、ルアンダにて二国間におけるビジネス

環境改善を目的としたアンゴラ・インド商工会議所が開設された。同商工会には50のメンバーが登録されている。2016年度の二国間貿易の総額は30億ドルである(JA 10/9)。

### 7 カイオ港, 2019年初頭完工予定

カビンダ州において建設が進められているカイオ港の建設は2019年初旬に終了する予定。同港の完成に伴い、カビンダ州周辺地域市場への依存度を弱めるとともに1600の直接雇用が創出される(JA 10/4)。

### 8 石油メジャーロウレンソ大統領を訪問

6日、ソナンゴル、ENI、TOTAL、Statoil、Esso、BP、Cabinda Gulf Oil Company各社の代表はロウレンソ大統領を訪問しアンゴラ石油産業の今後について意見交換を行った。今回の大統領表敬は石油メジャー各社の要望によって実現した(JA 10/7)。

### 9 税務庁による徴税額増加

財務省の発表によれば、2016年9月～2017年9月間の税務庁による徴税額が前年度比で約50%増加した。総額は2兆1890億クワンザに達し、この内訳は石油部門が55%、その他の部門が45%を占めた(JA 10/15)。

### 10 今年のインフレ率上方修正

政府は今年のインフレ率を22.9%に達する見込みであると上方修正した。今年度の国家予算計画においてはインフレ目標数値は15.8と予想されていた(JA 10/28)。

### 11 新ルアンダ国際空港

ロウレンソ大統領は28日、中国 VIK 社によって建設が進められている新空港の現場視察を行い、完工は2019年末になる予定であると発表した。現時点での工事履行率は57.5%(JA 10/29)。

### 12 米, アンゴラからの石油輸入増加

米エネルギー省エネルギー情報局によれば、今年6月以降のアメリカによるアンゴラからの石油輸入量が増加した。6月のアメリカによる一日あたりの石油輸入量は17万8000バレルに達し、翌7月には18万9000バレルに増加し、アンゴラの一日本あたりの石油生産能力(160万バレル)の10%を占めた(JA 10/31)。

### 13 IMFによる経済分析

#### (1)サブサハラ以南アフリカ経済

IMFの発表した報告書によれば、2017年度のサブサハラ以南アフリカ全体での経済成長率は2.7%に達する見込みであると発表した。この数値は前年比で50%以上増であり、2018年度は3.4%の成長が見込まれる(JA 10/31)。

#### (2)アンゴラ経済分析

2016年、アンゴラ経済は不況に陥り、経済成長率は前年比で0.7%落ち込んだ。2017年度の経済成長率は1.5%と今年4月時点の1.3%の予想から増加した(EX 10/13)。

### 14 外貨準備高の下落

8月のアンゴラの外貨準備高が156億900万ドルとなり、過去7年間で最低値を記録。石油危機以前

の2014年1月の外貨準備高は307億ドルであり、当時と比較して半減した。アンゴラの外貨準備高は現在SADC域内で南アフリカに次ぎ第二位(EX 10/6)

### 14 アンゴラ企業が国外に313億ドル投資

中央銀行のソースによれば、2016年度までに、アンゴラ企業は313億ドルの投資を国外で行った。この額はアンゴラの外貨準備高をはるかに上回る規模(EX 10/13)。

### 15 ソナンゴル債務の削減

ロンドンにおけるイベントにおいて、イザベル氏は自身がソナンゴル取締役会会長に就任してから同社の債務を48%減少することに成功し、前年度は130億ドルであった債務を70億ドルに削減したと述べた(ME 10/13)。

---

JA: Jornal de Angola, EX: Expansão, MH: Macau Hub, DN: Diario de Noticias, NJ: Novo Jornal, VOA: Voice of America, CK: Club-K, AA: All Africa, AN: Ango Notícias, OBS: Observador, AP: Angop, A024: Angola 24 horas, FT: Financial Times, PA: Portal de Angola, EIU: Economist Intelligence Unit, ME: Mercado, VA: Valor Económico